

IMPORT & EXPORT SOLUTIONS

アレイの画像インポート・エクスポートソリューション



医療機器認証番号

Array AOC1.5 (Prelude・web Export) : 226AGBZX00097000

Array Grand Bleu : 226AGBZX00100000

診断目的以外でお使いの場合は、非医療機器版をご用意しています。

レーザーフィルムデジタイザー 2905M : 21400BZZ00160000

 Array Corporation アレイ株式会社

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10 tel.03-3320-3911 fax 03-3320-3696 / sales@array.co.jp / www.array.co.jp

© 2017 Array Corporation. All right reserved. Array Corporation、Array Corporation ロゴは、アレイ株式会社の商標です。

この資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

この資料の記載内容は2017年4月現在のものです。この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。

cn15010233

netPDI

2017

IMPORT SOLUTIONS

インポートソリューション

Image Import

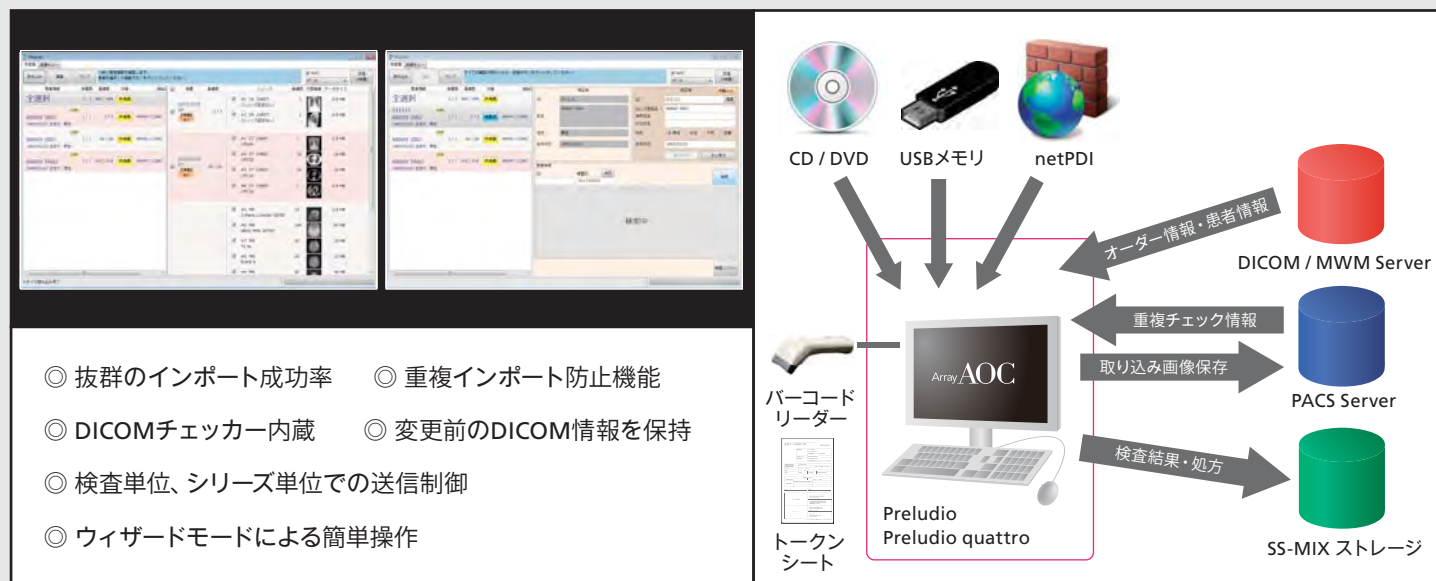
さまざまな施設から来る検査画像を確実にインポート。

他施設から来る検査画像は診断装置や形式もさまざま。そのままPACSに送信できなかつたり、送信しても表示できないこともあります。DICOMについて長い経験のあるアレイのインポートソリューションは高いインポート成功率を実現しています。

Preludio / Preludio quattro 簡単なのに高性能、画像インポーターの定番。

Preludio (プレルディオ)、Preludio quattro (プレルディオクワットロ) なら、だれでも簡単にCD/DVDの画像をPACSへインポートできます。その簡単な操作を実現するために、これまでのアレイの画像インポートの経験がフルに活用されています。数々の経験を活かして高いインポート成功率を実現。PACSに

同じ画像を二重に持たせないようにするための、重複インポート防止機能も充実しています。またDICOMチェッカーも内蔵。インポート前の画像やインポートに失敗した画像についてDICOM規格への適合性がチェックできます。オプションでnetPDIにも対応します。

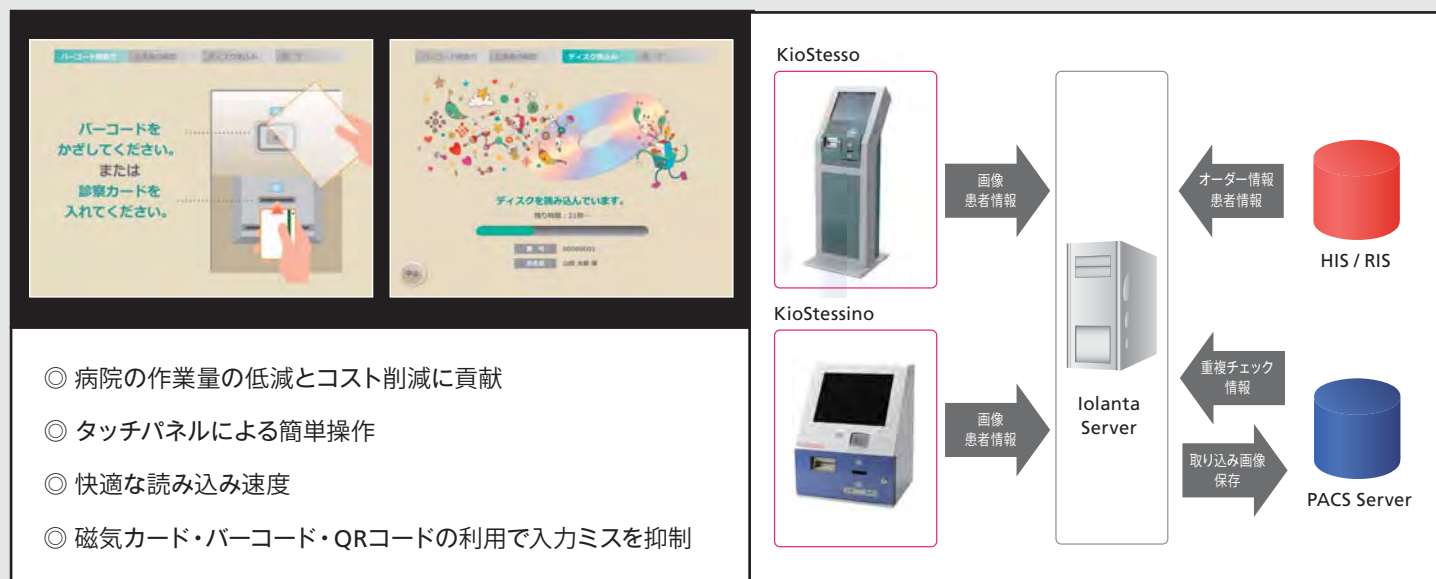


- ◎ 抜群のインポート成功率
- ◎ 重複インポート防止機能
- ◎ DICOMチェッカー内蔵
- ◎ 変更前のDICOM情報を保持
- ◎ 検査単位、シリーズ単位での送信制御
- ◎ ウィザードモードによる簡単操作

KioStesso / KioStessino 患者さまご自身でCD/DVD画像を簡単にインポート。

KioStesso (キオステッソ)、KioStessino (キオステッシーノ) は患者さまご自身でCD/DVD画像をPACSにインポートするキオスク端末です。金融機関のATMのような、だれでも親しめる簡単な操作で診察券とCD/DVDのデータ

を読み込みます。患者さまに病院のワークフローの一部を体感していただくことで理解を深めていただくことができます。もちろん院内の作業、コストも低減します。



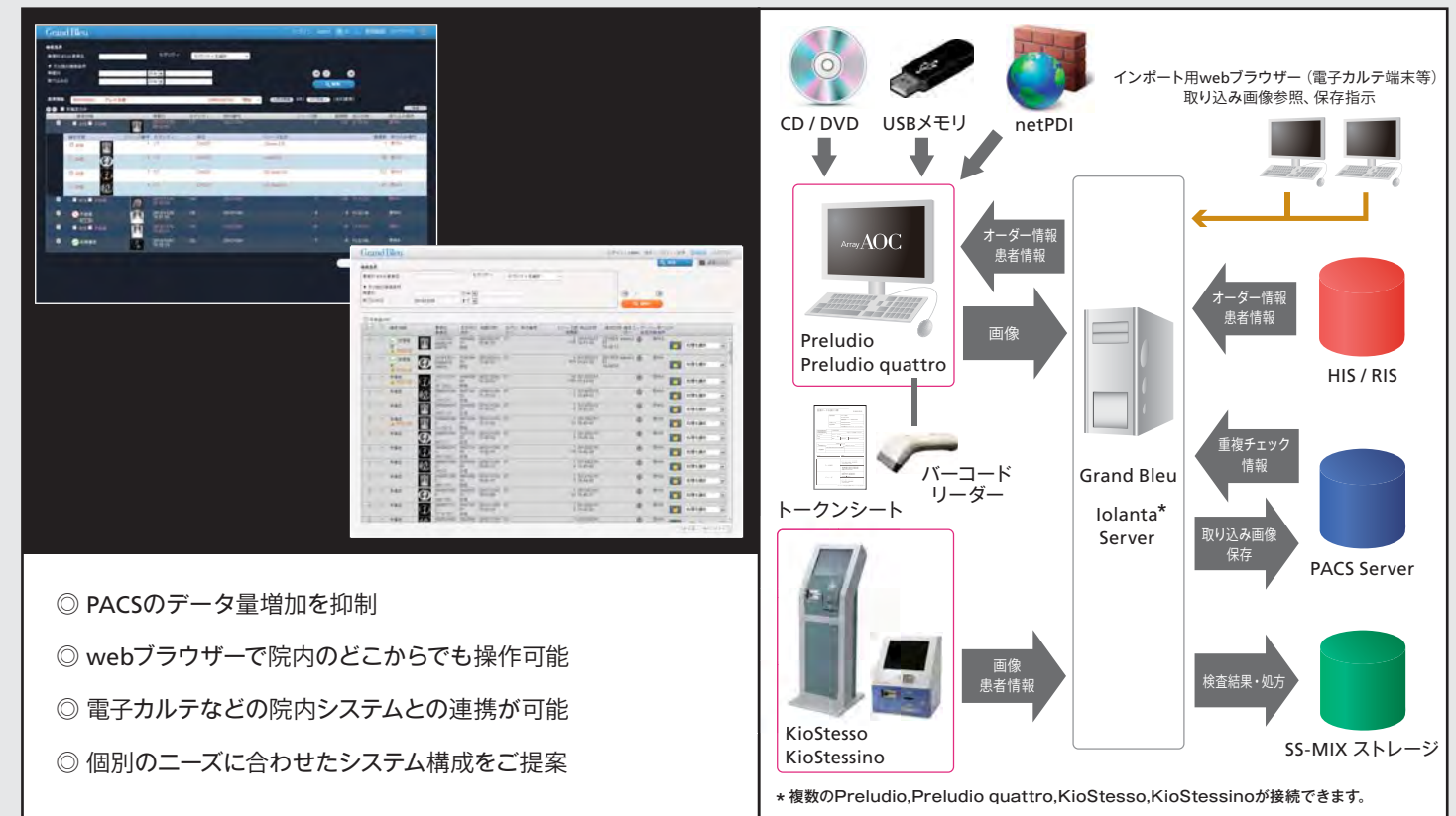
- ◎ 病院の作業量の低減とコスト削減に貢献
- ◎ タッチパネルによる簡単操作
- ◎ 快適な読み込み速度
- ◎ 磁気カード・バーコード・QRコードの利用で入力ミス抑制

Import Suite 必要な検査・シリーズだけを選択してインポート。

外部から持ち込まれた検査画像をすべてメインPACSにインポートしてしまうと、メインPACSのデータ量が増えすぎてしまうことがあります。Preludio、KioStessoなどで取り込んだ画像をGrand Bleuに送ると、参照が

必要な画像だけを選択してPACSにインポートできます。Grand Bleuはネットワーク上の複数のPCから同時に利用できます。オプションでnetPDIにも対応します。

*同時使用数は必要に応じて設定いたします。



- ◎ PACSのデータ量増加を抑制
- ◎ webブラウザで院内のどこからでも操作可能
- ◎ 電子カルテなどの院内システムとの連携が可能
- ◎ 個別のニーズに合わせたシステム構成をご提案

*複数のPreludio, Preludio quattro, KioStesso, KioStessinoが接続できます。

レーザーフィルムデジタイザー 2905M 圧倒的な高画質・高速度。フィルムデジタイザーの世界標準機。

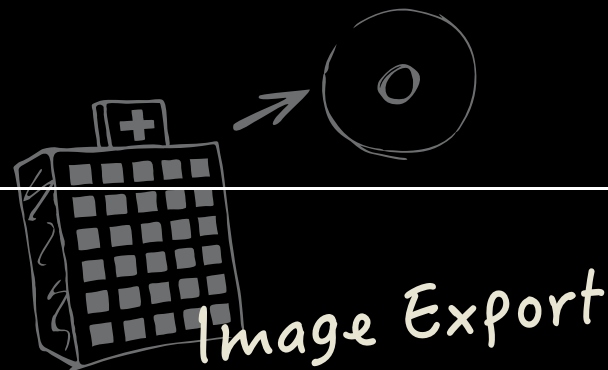
フィルムが持ち込まれた場合は、画質が良くても速いレーザーフィルムデジタイザー2905Mでスキャン。CTやMRIなど、1枚のフィルムに複数のコマがある場合でも、自動的に画像を切り出し、位置を揃えます。



- ◎ レーザー光源を使用
- ◎ 濃度0から4.3までの広いダイナミックレンジ
- ◎ 半切フィルム6秒の高速スキャン
- ◎ マルチフォーマット画像の自動分割機能
- ◎ 長尺フィルム・特殊サイズフィルムに対応

EXPORT SOLUTIONS

エクスポートソリューション



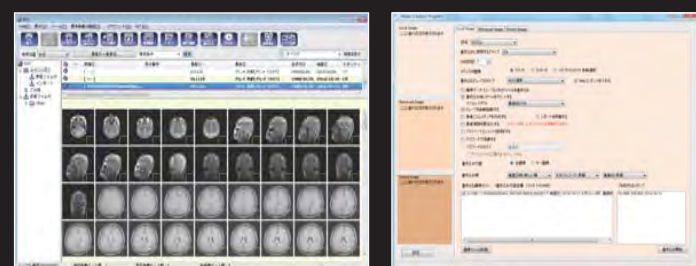
検査画像を標準に適合した形式でエクスポート。

検査画像を他の医療機関に提供するディスクは、IHEのPDIとして定められた形式に従うことが決められています。アレイのエクスポートソリューションで作成されるディスクはすべてPDI準拠。どこの医療機関に持って行っても安心です。

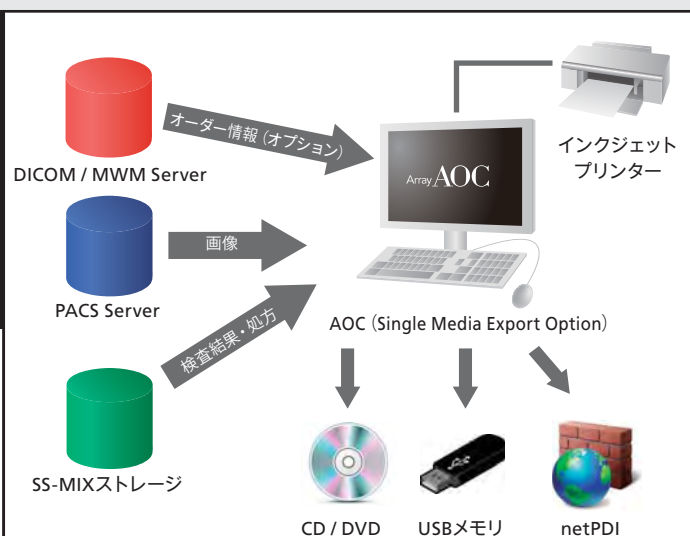
Array AOC エクスポートオプション

AOCにメディアエクスポートオプションがあると、画像のエクスポートが簡単にできます。

AOCにはPC内蔵/外付けディスクドライブとインクジェットプリンターでオプションでnetPDIにも対応します。



- ◎ インクジェットプリンターで手軽に検査ディスクを作成
- ◎ マトリックスビューによる検査の選択
- ◎ 送り先別履歴管理で重複エクスポートを防止
- ◎ ローカルデータベースからもエクスポート可能

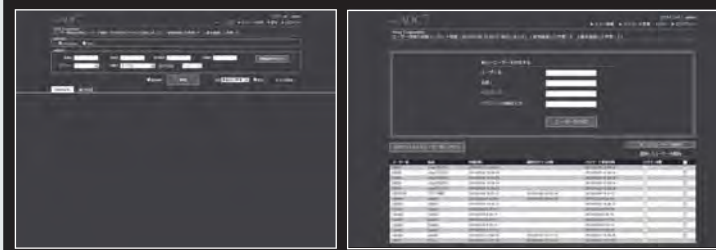


AOC web Export + PP-100

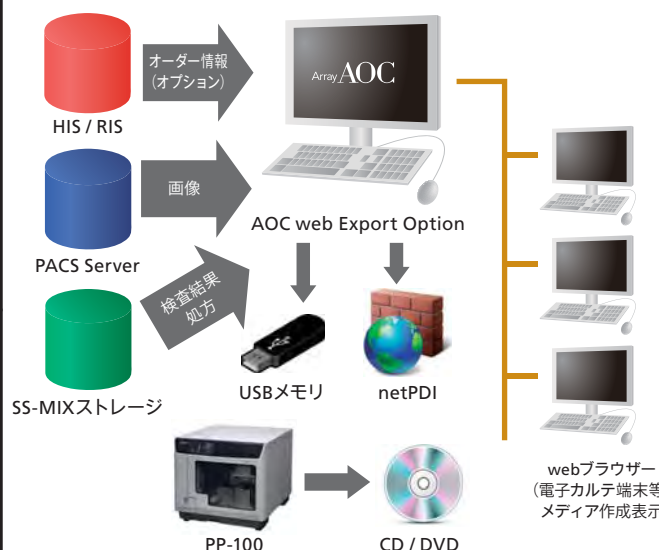
院内のどこでも、webブラウザでエクスポートできます。

AOCのweb Exportオプションを使うと、ネットワーク上のほかのPCのwebブラウザでエクスポートの指示ができます。同時使用も可能です*。ユーザーアカウントによって、だれがいつ何のデータをエクスポート

したかが記録されます。管理者用アカウントで細かい管理もできます。ユーザーアカウントはほかのシステムと共用できます。オプションでnetPDIにも対応します。



- ◎ どこからでも*CD/DVDの作成指示が可能
- ◎ 複数のPCから同時操作**も可能
- ◎ エクスポート作業の進捗状況を表示
- ◎ ディスク引換票/トークンシートの印刷機能



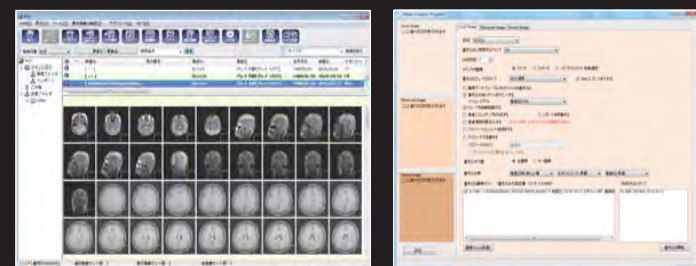
*指定の方式で通信可能なネットワーク内であることが条件です。 **同時に操作可能な端末の数には一定の上限があります。

Array AOC + PP-100

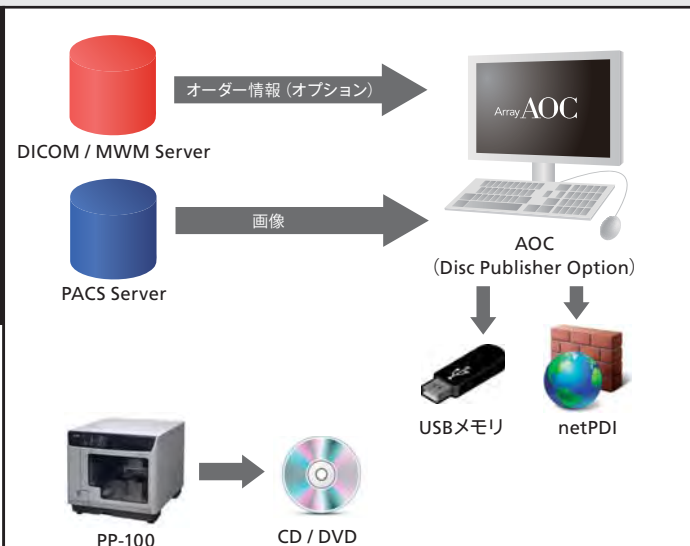
ディスクパブリッシャーを使うと、さらに便利に。

ディスクを1日に5枚以上作る施設では、ディスクパブリッシャーEPSON PP-100シリーズを使うことをお勧めします。ディスクパブリッシャーを

使用すると作業性がぐんと向上することはもちろん、内容とラベルが一致しない危険なCDを作るリスクが大幅に減らせます。



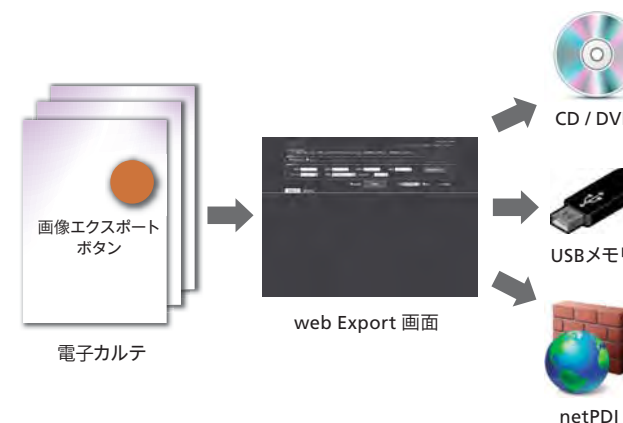
- ◎ ディスク作成の自動化で作業性を大幅に改善
- ◎ CD/DVDを自動選択
- ◎ ディスクの内容とラベルが必ず一致



OPTION / CUSTOMIZE

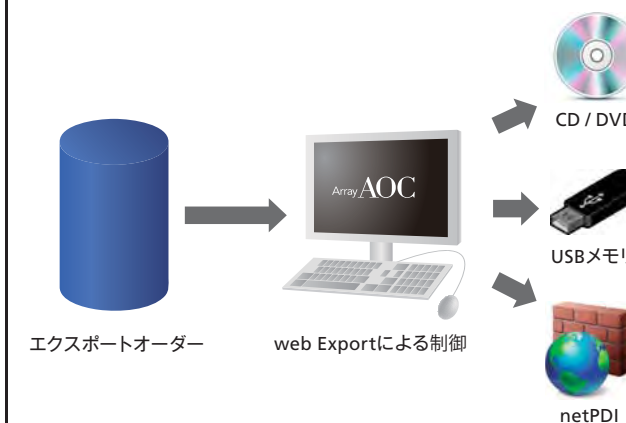
電子カルテとの連携。

web Exportは電子カルテと連携できます。電子カルテの「画像エクスポート」ボタンをクリックするだけで、web Exportの検査一覧画面が表示されるので、すぐにエクスポートの指示ができます。



オーダーからの自動エクスポート。

web Exportはエクスポートオーダーを受け取って自動的にエクスポートすることも可能です。さまざまなオーダーの形式に対応できます。



IMPORT / EXPORT INTEGRATED SOLUTIONS

インポート・エクスポート統合ソリューション

インポート、エクスポート管理のすべてがここに。

画像インポート、エクスポートについて、経験豊富なアレイの統合ソリューション。確実で無駄のない画像のインポート、エクスポートを実現します。

IMPORT / EXPORT INTEGRATED SOLUTIONS

送り先情報を含めてインポート・エクスポートを統合管理できるソリューション。

〈インポート〉

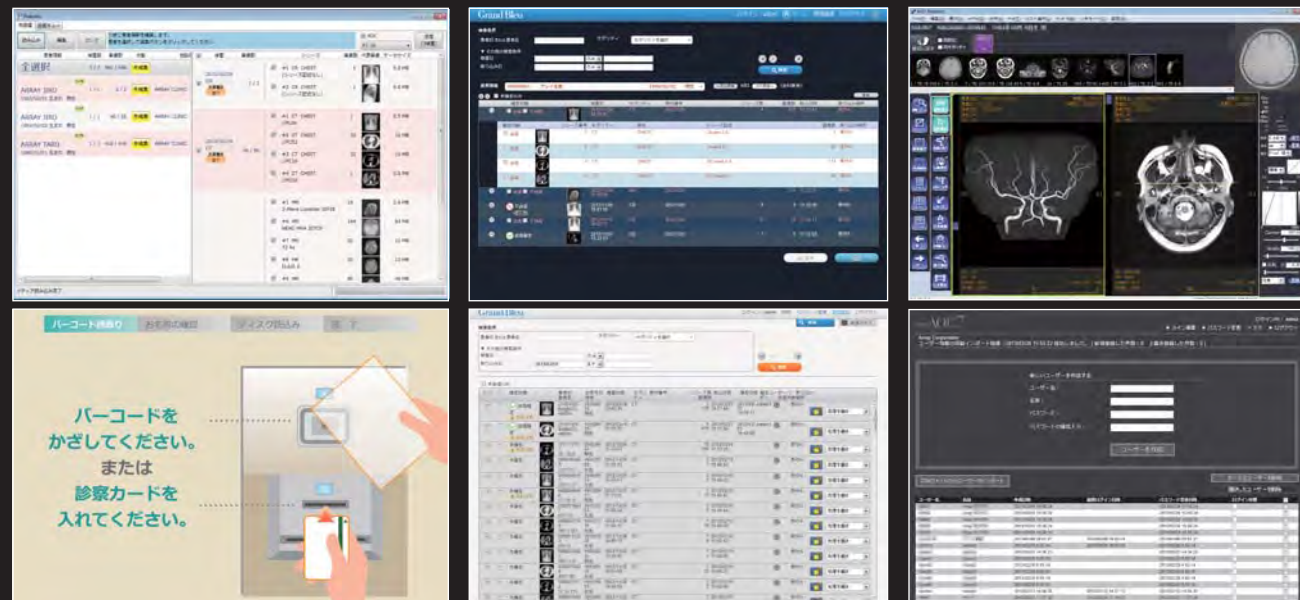
CD/DVDなどのメディアには簡単で高性能のインポーターPreludio、Preludio quattroが複数ご利用できます。またKioStesso、KioStessinoで患者さまご自身でCD/DVD画像をインポートしていただくことも可能です。フィルムは2905Mでデジタイズ、AOC ScanがDICOMデータにします。画像データの重

複が起こらないよう、インポート情報やエクスポート情報がlolantaで共有されます。インポートのオーダーもlolantaで一括管理します。読み込んだ画像データはGrand Bleuで一時的に保存、必要なデータを選択した後、PACSサーバーに送られます。オプションでnetPDIにも対応します。

〈エクスポート〉

エクスポートはAOCのweb Exportを使います。電子カルテと連動すると、カルテからエクスポートが指示できるようになります。またエクスポートのオーダーを使う場合は自動的にエクスポートすることも可能です。エクスポートデータは送り先を含めて管理され、同じ施設に同じデータを重複して送らないようにします。また、一度エクスポートしたデータが、あとで

ほかの医療機関によって作成されたエクスポートデータに含まれ、再インポートしてしまうこと（いわゆる「ブーメラン検査」）を防止するため、エクスポートデータもlolantaを使って管理。インポーターと情報を共有します。オプションでnetPDIにも対応します。



- ◎ PC (Preludio、Preludio quattro) からも専用端末 (KioStesso、KioStessino) からもインポート可能
- ◎ 複数のインポーターで重複インポートチェック情報を共有
- ◎ 自施設のエクスポートデータを含めた重複インポート防止機能で「ブーメラン検査」を防止
- ◎ PACSにインポートするデータが選択可能
- ◎ webブラウザでどこからでもエクスポートが可能
- ◎ 電子カルテと連携すると、カルテ画面から簡単にエクスポート
- ◎ エクスポートオーダーによる自動エクスポートに対応
- ◎ 送り先別のデータ管理で重複エクスポートも防止
- ◎ オプションでnetPDIに対応

